

子どもの体調や興味のあるなしでどう働きかけるかなど、工夫してくださっている様子が伺える。同じ人に担当について興味や好きなことなどを探るのもおもしろいし、いろいろなタイプの人に付くのもおもしろい。ぜひ今後も継続していただき、“おもしろさ”を味わっていただきたいと思う。

◆第3回◆

日時：8月21日（火）13:00～17:00

会場：まつばっくり子ども教室

内容：体験「学齢児の活動に参加」

※体験の前後30分ずつを打ち合わせと振り返りに当てる。振り返りの時間には、発達相談員の荒井聰氏がアドバイザー参加。

参加者：2名

◎体験内容

13:00 打ち合わせ。活動の流れや注意事項、担当につく子どもの情報等の伝達

13:30 活動開始～始めの会。一人一人名前を呼び、体調等を全体で確認

14:00 出発。都営新宿線・大江戸線で両国～緑町公園へ

水遊び～おやつ

16:30 終わりの会～保護者への引き継ぎ

振り返り。感想などを出し合う

17:00 終了



◎受講生から寄せられた感想

- 初めて講座に参加し、障害のある子と関わるのも初めて。ダウン症の中2の男の子と出かけた。しっかりしていて、会話もでき、手こずることもなく、違和感なく過ごせた。彼が楽しんでいたので良かった。



- ・「自分でやる」と鍵を閉めて着替えを始めた。でも、最後に履けたことを確認させてくれた。信頼してくれたのかなと思った。
- ・高1の女の子と出かけた。担当に選んでくれた。前回担当した子が私と行きたそうにしているのを感じ取って、「今日は、私の担当」と牽制していた。散歩の時は「後ろから着いてきてくれればいいですよ」と言ったり、トイレには「一緒に来てください」などと自分から言ってくれたので、良い距離感で関わることができた。

◎アドバイザーから

初めて参加してくださった方もすぐに子どもたちとうち解け、楽しく参加していただけて良かった。子どもたちが、憧れたり、自分の思いを出せるようになったりするのは、日頃から集団活動をして、たくさんの人と関わっているから。そして、思いを出したいと思える人がいることが何よりも大事。たとえ初めて会った人でも、“一緒に楽しめそう” “思いを受け止めてくれそう”と思うと、子どもたちは自分の思いを出してくる。ぜひこれからも参加していただきて、より関係を深めていただけたらと思う。

◆第4回◆

日時：1月13日（日）10：00～17：00

会場：まつぼっくり子ども教室

内容：体験「エブリ（青年・成人期）の活動に参加」

※体験の前後30分ずつを打ち合わせと振り返りに当てる。振り返りの時間には、発達相談員の荒井聰氏がアドバイザー参加。

参加者：6名

◎体験内容

- 10：00 打ち合わせ。1日の活動の流れや注意事項、担当につく青年の情報等の伝達
- 10：30 活動開始～始めの会。一人一人名前を呼び、体調等を全体で確認。
- 11：00 出発。都営新宿線・大江戸線・有楽町線で豊洲～ガスの科学館へ
昼食～館内見学～おやつ
- 15：50 終わりの会～保護者への引き継ぎ
- 16：10 振り返り。感想などを出し合う
- 17：00 終了

◎受講生から寄せられた感想

- ・帰りの引き継ぎ時、担当の子のお父さんが、「今日は調子が悪く、来られるかどうか不安だった」と言われたが、活動中は表情も良く、最後は手をつないできてくれた。気を遣ってくれたのか、歩くときもかなりペースを落してくれた。
- ・初めて担当につく子で、座り込んだりと最初は不安だったが、つないでいる手を変えたいときに、自



分から私の後ろに回って位置を変え、手をつなぎ直したりしていた。

- ・「一緒に行きたい」と担当の子から選んでくれた。嬉しかったが、なぜ選んでくれたのかわからなかつたので、「今まで同じグループになったことないよね」と聞くと、「クリスマスコンサートの時にいたよね」と答えてくれた。お正月に旅行したことや、お父さんの会社のパンで作ったサンドイッチを持ってきたことなど、いろいろと話してくれ、楽しんでいた。

◎アドバイザーから

皆さん回数を重ね、子どもたちと自然に関わり、いろいろと働きかけてくださっていた。子どもたちも慣れてきて、もっと関わりたいと思ったり、自分の思いを出したりするようになってきている。体験講座としてはこれが最後だが、ぜひ今後も引き続き参加して、関係を深めていただきたいと思う。

◆その他◆

◇東京福祉専門学校より、地域連携プログラムとして前期に2名、後期に2名、各10回ずつ毎週木曜日の体験実習を受入れ。

◇東京YMC A社会体育・保育専門学校より、体験学習として9~12月の金曜日に全20回、延べ52名を受入れ。

イベントの開催

◆ウォークラリー◆

日時：11月18日（日）9：15～17：15

集合：猿江恩賜公園時計塔前広場

解散：ティアラこうとう中会議室

内容：10km・15km・20kmの3コースから選択して参加。チームごとにクイズを解いたりしつつ、歩く。昼食は、全員小松川公園にて（豚汁の振る舞い）。途中、おやつ休憩2回、他休憩4回。事前の企画会議で出された意見（コース途中で、土地や建物等にちなんだエピソードやクイズを出し、楽しみながら歩けたら）を取り入れる。

参加者：96名（含む：受講生8名、看護師1名、協働事業担当・チーム引率等要員16名）

◎参加者へのアンケートから（回答数26）

①今回のウォークラリーを何で知りましたか？ 複数回答あり

さくらんぼやまつぼっくりに掲示されたポスター（17）

区報（1）

作業所やグループホームなどのポスター・チラシ（1）

江東ウィズ会員からの誘い（4）





その他（1 ヘルパーの仕事として参加）

②ウォークラリーはいかがでしたか？

とても楽しかった（21）

まあまあ楽しかった（4）

ふつう（1）

③このような企画があったら、また参加したいですか？

ぜひ参加したい（21）

内容によっては参加したい（3 終了時刻がもう少し早ければ、距離、ボラの仲間が多くいると良いと思った、等）

◎参加者から寄せられた感想（自由記述）

- ・歩きながらいろいろな企画があり、最後まで飽きることなく楽しむことができた。
- ・いっぱい歩いた。頑張った。
- ・街並みが素敵だった。
- ・地元の知らない道を皆で楽しく歩いてとても有意義だった。
- ・とても楽しくて達成感があった（親の方が）！お友達も参加してくれて嬉しかった。
- ・初めての参加で少し緊張していたが、最後は満面の笑みでゴールできた。親子共々久しぶりに達成感を味わうことができて良かった。
- ・母は、午後から参加したが、スピードが速くびっくりした。休憩地点がたくさんあり、良かった。
- ・楽しく参加できた。ありがとうございます。
- ・疲れたけど、最後まで楽しく歩けた。クイズが良かった。豚汁が美味しかった。
- ・お弁当が楽しかった。
- ・緑道や神社、スカイツリーなど、景観も楽しく、お昼の豚汁も美味しかった。スタッフも、ポイント



集めゲームなど、工夫して盛り上げて下さった。

- ・とても充実した1日だった。参加して本当に良かった。
- ・昨年と同じコースでもあり、とてもスムーズな誘導だった。途中のスタッフ企画のクイズも良かった（もう少し出題方法とか工夫した方が良い）。
- ・“障害のあるなしにかかわらず、みんなで楽しむ”というテーマに沿っていて良かった。来年も参加したい。

◆クリスマスコンサート◆

日時：12月23日（日）13：45～15：00

会場：都立大江戸高等学校

内容：ミュゼ・ダール吹奏楽団（55名）を招いてのコンサート。

曲目は、クリスマスマドラー、トロメドラー、ディズニーメドラーなど。

参加者：197名（エブリの活動として参加した青年58名、受講生8名、

ボランティア32名、一般参加者95名、協働事業担当者4名）



◎参加者へのアンケートから（回答数11）

①今回のクリスマスコンサートを何で知りましたか？ 複数回答あり

作業所やグループホームなどのポスター・チラシ（1）

江東区の掲示板に掲示されたポスター（3）

区報（1）

江東ウィズ会員からの誘い（5）

その他（1）（有明スポーツセンターのチラシ）

②コンサートはいかがでしたか？

とても楽しかった（11）



③このような企画があったら、また参加したいですか？

ぜひ参加したい（10）

内容によっては参加したい（1 子どもが喜ぶようなイベント）

◎参加者から寄せられた感想（自由記述）

- ・ソロのパートがあつたり、立ち上がって演奏したり、楽しかったです。
- ・毎年楽しみにしています。いつも選曲が良いので、素敵な曲をたくさんありがとうございます。
- ・楽しい演奏でした。ありがとうございました。
- ・自由で、ダンスもOKの雰囲気、よかったです！楽団の方の工夫で、子どもも楽しく参加できました。
- スタッフの方々、お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・フォーチュンクッキーがよかったです♥
- ・生演奏に触れられて良かった。江東ウィズの活躍を期待しています。

◎受講生から寄せられた感想

- ・演奏を聞くだけでなく、前に出てきて踊ったり、からだ全体で楽しめる良いコンサートだった。
- ・初めてイベント企画として参加したが、介助や案内の変化などを目の当たりにした。
- ・コンサート後のレクで、高校生も参加し、パラシュートをしたり、写真と一緒に撮ったりして協力してくれた。明るい雰囲気でとても良かったが、フォークダンスの輪になかなか入れず、戸惑っていた高校生がいたので、その辺をフォローするスタッフがもっと必要だと思った。

